

休暇村 乳頭温泉郷

秋田県
仙北市

冬の温泉郷を満喫する

秋田県仙北市の乳頭温泉郷は全国の温泉ファンに人気が高く、メディアがまとめる「行ってみたい温泉ランキング」では常に上位に入り、特にゴールデンウィークや紅葉シーズンなどにはどの宿も満室になり、予約が取りづらくなるほどだ。

温泉郷は、田沢湖高原の最奥部の山中に点在する、休暇村乳頭温泉郷と、秘湯情緒あふれる6軒の温泉宿、鶴の湯温泉、黒湯温泉(当館のみ冬期休業)、妙乃湯、大釜温泉、蟹場温泉、孫六温泉で構成されている。

温泉郷では、2009年から乗り合いの「湯めぐり号」を運行し、各温泉宿をつなぐ足にしている。利用状況も好調で、一昨年には8人乗りのワゴン車から27人乗りのマイクروبスにバージョンアップ、車体には



ブナ林に囲まれたリゾートホテル風の休暇村 乳頭温泉郷



湯めぐり号で雪の乳頭温泉郷巡りをしたい。

ラッピングを施し、屋根には湯おけを載せるといいうユーモラスなスタイルで、温泉郷両端の鶴の湯温泉と蟹場温泉の間をつないで一日5往復している。宿泊した温泉宿で購入できる「湯めぐり帖」は1800円。3軒の宿の風呂に入ればペイする勘定だ。

この冬は、休暇村をベースキャンプにしながら、湯めぐり号運行時刻表と首つ引きで乳頭温泉郷全温泉宿制覇のスタンプラリーにチャレンジしてみたいだろうか。湯めぐり帖は1軒につき1回入浴可で1年間有効。

乳頭温泉郷は7軒の湯宿が点在し泉質、宿の趣が異なり湯巡りを存分に楽しめる



鶴の湯



妙乃湯



大釜温泉



蟹場温泉



孫六温泉



黒湯温泉(冬期間は休業)



はんてんを羽織ってお客を迎え入れる休暇村スタッフ

快適なステイを楽しむ

乳頭温泉郷のほとんどの宿は鄙びた風情の一軒宿だが、休暇村乳頭温泉郷は施設もサービスも温泉リゾートホテルと思ってい内容。平成13年に新館を増築するなどリニューアル工事を行い、一層快適に泊まれ

る旅の宿になった。

客室は8畳または10畳の和室が25室、ツインベッドの洋室が13室で最大収容112名。バリアフリー仕様の部屋も1室ある。ちなみに、全室禁煙だが、館内に喫煙コーナーが設けられていて、タバコを吸う人にも吸わない人にもありがたい配慮だ。



屋根付きの露天風呂。ブナ林を眺めながら雪見風呂を楽しみたい

リニューアル時に造り変えられた男女別の大浴場は、乳白色の単純硫酸黄泉と、薄墨色のナトリウム—炭酸水素塩泉の2種類の泉質の天然温泉の湯が張られ、わずかに温度差もある。そして浴室に漂うブナ材の芳香、窓外のブナ林の眺めと相まって、しみじみとした旅愁を感じさせる。



乳頭温泉郷
ぶな林の湯

2種類の泉質の天然温泉が張られた浴室。ブナの芳香が漂う



全38室中、ツインの洋室は13室。広々している



家族旅行にも利用しやすい10畳間和室



小さな子どもも退屈させない気遣い

休暇村 乳頭温泉郷

KYUKAMURA NYUTO-ONSENKYO

〒014-1201 仙北市田沢湖駒ヶ岳2-1

TEL.0187-46-2244

FAX.0187-46-2700

<http://www.qkamura.or.jp/nyuto/>

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。



新雪の上をガイドとスノーシューで
巡るツアーにチャレンジ!



旅好きな人は全国の休暇村で使えるQカードに入学しよう

1000円)を楽しむのもこだ。
仙北市田沢湖の市街地から休暇村乳頭温泉郷までは、カープも多い上り勾配が続く。除雪はしているものの、運転に不安がある人は田沢湖駅前から乳頭温泉行きの路線バスを利用するのが安心だろう。休暇村前にバス停がある。
(文・写真ⅡかつりゅうえつⅡ秋田市)

雪道はバス利用が安心
3月末日まではリーズナブルな料金で連泊できる湯治プランもある。しんと雪の降る温泉宿で読書三昧をしたり、ガイド付きのスノーシュー雪中散策(約1時間

食事を楽しむ。基本はバイキングで、納豆汁やしょつる鍋、エゴなど、秋田の味覚の提供にも力を入れている。県内在住者でも県外在住者でも楽しめる趣向がうれしい。
また、バイキングとは別にコース料理もチョイスできる。2月28日までの「冬の彩宴」と名付けられた料理(前日までに予約)は、秋田の食材をふんだんに使って丁寧に調理した、見るだけでも楽しい多彩な料理が並ぶ。バイキングとコース料理、どちらも捨てがたい。旅のスタイルや気分を使い分けたいところ。



秋田の旅を演出する小粋な食材も出るバイキング。納豆汁、山の芋鍋、しょつる鍋、きりたんぼ鍋と、秋田の味の鍋づくし